

神奈川県を大学を知ろう!

～シリーズ：大学について知ろう (その8)～

期末テストはできましたか? 大学入試を突破するための受験勉強は決して特殊なものではなく、日頃の学校での学習の延長線上にあることを忘れずに…。さて今回の神奈川県には「横浜大学」という名前の大学はありません。戦後の新制大学申請時に「官立4学校合体」と「市立3学校合体」と「旧横浜専門学校」が全て同時に「横浜大学」と申し出たため、協議の結果、国立は**横浜国立大学**(よここく)・公立は**横浜国立大学**(よこいち)・私立は**神奈川大学**(じんだい)の各名称になったそうです。その中で最近学部改変したのが金沢八景(医学部は八景島シーパラダイスの目の前!)にある横浜市立大。一昨年データサイエンス学部を新設し、昨年は国際総合科学部を改組して新たに国際教養・国際商・理の3学部を新設したのです。神奈川大も今年度新たに国際日本学部を開設し、来年は横浜みなとみらいに新キャンパスを作ると息巻いています。横国・横浜市以外の国公立大は横須賀市にある**神奈川県立保健福祉大**のみ。私立の総合大としては平塚市の**東海大**(札幌や熊本などにもキャンパスがあります)や横浜市大近くの**関東学院大**があります。相模原市には獣医学部が有名な**麻布大**や、北里柴三郎を学祖とする**北里大**があり、横浜市内には**東洋英和女学院大**や**フェリス女学院大**など伝統のあるキリスト教系の女子大もあります。また、東京に本部がある大学でも学年や学部によっては神奈川県内にキャンパスがある場合も多いので(慶應義塾大・青山学院大・専修大・明治大など多数)注意しましょう。

以下の文章は**9年前(2011年)**に私が横浜国立大学説明会に行ったときのことを書いたものです。オープンキャンパスも今年はWebばかりなので、これでハマの雰囲気味わってくださいな。

YOKOHAMA NATIONAL UNIVERSITY

横浜国立大学に行ってきました…

人気の横浜国立大学、でもその人気は横浜という地名から!?

横浜国立大学理工学部の説明会に行ってきました。横浜国立大学は東大・東工大・一橋大といった難関大の次に位置する大学で、千葉大・筑波大とならんで非常に人気があります。ただし、「横浜」という名前だけであがれている受験生も多いので、今回はその真実を皆さんに紹介するために説明会に参加してきました。確かにこの大学は千葉大や筑波大と違って設置されている学部は限られています(つまり総合大学ではありません)。それは、この大学が戦前の「横浜師範学校」「横浜高等商業学校」「横浜高等工業学校」の流れをくみ、合体して1949年に設置されたからなのです。だから学部は「教育学部」「経営学部」「経済学部」「理工学部」の4つしかないのです…。※(注)2017年に「都市科学部」を新設し現在は5学部体制です

人気の横浜国立大学、でも中華街からは遠い!?

さて、私たちが「横浜」と聞いて連想するのは、ランドマークタワー・山下公園・中華街・港の見える丘公園・「ヨコハマたそがれ♪」(古い!)・「ブルーライトヨコハマ♪」(古い!)・「伊勢崎町ブルース♪」(めちゃくちゃ古い!)・「恋人も濡れる街角♪」(それでも古い!) etc.といったところですが、横国大はそれらのイメージ(港町のおしゃれな雰囲気、もしその雰囲気がお望みならばフェリス女子大に入学してください)

とは関係ない保土ヶ谷区常盤台にあります(ちなみに横浜市立大学は八景島シーパラダイスの近くです)。大学のパンフによれば、横浜市営地下鉄ブルーライン「三ツ沢上町」下車徒歩15分とありますので、当日の私もその通りに行ってみることにしました。

横浜駅から港とは逆方向へ二駅の「三ツ沢上町」で地上に出た私を待っていたのは、照りつける真夏の太陽と、ガンガン車が走る国道1号線。暑いけど歩きます。5分ほど歩くと新横浜通りを歩道橋で渡り、さらに国道1号線を歩きます。暑いです。汗を拭くハンカチがびっしょりです。15分ほど歩いたところで、YNUの看板が見え、細い道路を右へ。ところが、そこから上り坂です。暑いです。お腹も空いてきてフラフラです。20分近く歩いて横国大に到着。暑いです…。



横浜国立大学正門前

人気の横浜国立大学、でも土日は大変!?

常盤台キャンパスは、バラバラに存在していた各学部を集めて1970年代に作られたもの(昔はゴルフ場だったそうです)。正門から入ると、まるで公園に来たような気分。校内案内図を頼りにまずは学食で腹ごしらえ…と思ったら「営業してないじゃん!」。確かに土曜日と言うことで、学生の姿もまばら。そのまま構内を横切ること10分。正門とは逆側にローソン発見! 吸い寄せられるように中に入ると、昼食をとる学生たちで溢れかえっているのではないかと。結局、学食が営業していない休日に大学へ来た学生は、近くにレストランもないので、ここで食べるか、ここで買って研究室等で食べるしかないのでしょうか。ともかく、ここで20歳前後の学生たちに囲まれながらコンビニ弁当を食べて、ついでにアイスクリームまで食べて、いよいよ理工学部の説明会に臨んだのでした。



私を救ったローソン

人気の横浜国立大学、特に理工学部後期入試は超人気!?

横国大は今年(2011年)の4月に、従来の工学部を改組・拡充し理工学部をスタートさせました。理工学部は4学科13教育プログラムで構成されていますが、他大学と違う部分も多いので、志望する人は大学HP等で調べてみてください。今回の改変で志願者は700名近く増え、中でも女子の前期志願者が倍増(女子入学者の割合も4%増)したそうです。もともと横国大は後期の定員が多いことで知られていますが、大学に言わせると、それは「後期まで頑張れ!」という大学からのメッセージだそうです。ただ、旧帝大を中心とした後期廃止・縮小の流れから、横国大が前期難関大受験者の併願校となっていたのは事実で、後期の定員を増やして優秀な学生を集めようとしているのだと思っていました。特に東京工業大が後期を廃止する2012年度入試は、横国の理工学部は大激戦が予想されています。ところが、大学側の説明では、2013年度入試からは前期と後期の比率を逆転させ、前期重視にシフトするのだそうです(それでも他大学よりは後期定員は多いのですが…)。横国大に入るならやはり前期勝負ですね。

説明会の後、情報交換会に参加し、帰宅の途に。「でも、どうやって帰ればいいのか?」と思っていたら、事務のきれいなお姉さんが近くのバス停まで案内してくれました。バスで横浜駅西口へ。駅構内でシュウマイ好きの息子のために崎陽軒のシュウマイを購入し、JR 湘南新宿ラインのグリーン車で久喜へ。久喜から東武線で館林へ。館林駅に降り立ったら、暑い!夜なのに暑い!この日、館林の最高気温は38.4度だったとか…。横浜は海の近くなのでやはり群馬よりは涼しいし、横国大の教授たちは地下鉄に乗って中華街に繰り出すのだとか…。やはり横浜は素敵だ!!

※ 昨年(2019年)11月に相鉄・JR直通線の開業に伴い「羽沢横浜国大駅」(はざわよこはまこくदैえき)が開設(新宿から40分位で直通!)しましたが、この駅から大学までやはり徒歩15分はかかってしまいます…。